

ALPHA Healing Garden クラブ 活動報告 (第67回)

実施日時:2017年2月22日(水) 10:30~15:00

参加者:金子先生、廣岡先生、中田先生、

園芸療法課程生₍₂₎+クラブ員₍₁₆₎+ほか₍₂₎=23名

活動場所:園芸療法ガーデン

スケジュール:10:30~

花壇維持管理、草取り

12:00~12:40

昼食をとりながら懇親

12:45~

校外観察会 (ミニ講座の時間を活用)

「八木のしだれ梅」<南あわじ 村上邸>

✽見頃を迎えた、樹齢60有余年と言われるしだれ梅をみんなで、訪れました✽



【今後の予定】

(変更の場合がありますので、案内メールでご確認をお願いします)

<2017>

3/22

4/26

5/24

6/28

7/26

8/23

9/27

10/25

11/22

12/20*

<2018>

1/31**

2/28

3/28

毎月

第4水曜日

ただし、
2017/12月
は第3水曜日

2018/1月は
第5水曜日

三寒四温、夜から雨の予報で気になる天気でしたが、風もなく春の訪れが確実に近づいてきたような、暖かな日日に恵まれました。

園芸療法ガーデンは、1週間前に手が入り、花柄摘みなど比較的作業量が多くないとのこと、金子先生の指示のもと、ストック、アリッサムやピオラが彩り豊かに咲く実習園エリアを中心に作業が始まりました。

作業が進むにつれ、花壇縁や通路に生える雑草など、普段、見逃しがちになる細かな作業にも思い思いに取組み、明るい日差しを受け、時間の経過を忘れるほどでした。

付け始めた芽を残しながらチェリーセージを刈り込んだり、ゴウゴウ鋸歯の目立つクリスマスローズの葉を切戻すと新しい蕾が目立つようになるなど、ガーデンの春を待つ準備は着実に一歩進んだように思えます。

少し早めに作業を終え、金子先生の案内で多目的ホール下の湿地へ移動、赤ガエルが1月に産みつけたものさそうで、

ゼリー状のもので固まった卵塊が水中の随所で見られます。オタマジャクシからカエルへその成長が楽しみです。

昼食は、ガーデン内のワークショップ、温かいお茶のお陰もあり、肌寒さを感じず、久しぶりの屋外での昼食時間となりました。

午後は、南あわじの八木のしだれ梅の観察会です。約1時間、車で移動、手前の成相寺で台数を減らし、いよいよ村上邸に近づくと“濃いピンクの雲”が遠目に見えてきます。捻じれた太い幹は、樹齢60有余年の貫禄。見頃の紅梅の見事さは、上の画像でお伝えできたと思います。樹形を整え、多くの花をつけるよう、梅に実がつく前に毎年剪定するなど、育てる苦労の一端をお聞きました。ヒトと比較はできないでしょうが、この齢でこの妖艶さには魅了されます。参加の皆さん、一様に満足され、初めての校外観察会も無事終了しました。一日、お疲れさまでした。

<世話人: 植田(2/23記)、小柳>